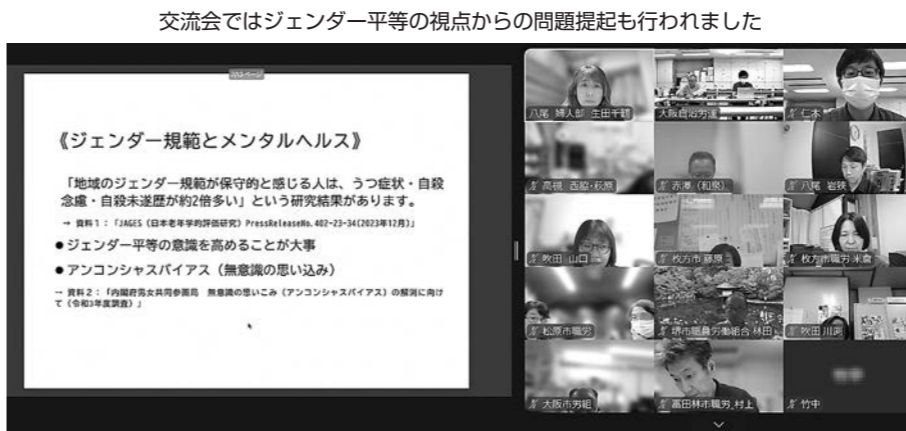


メンタルヘルス不全、ハラスメント 異常な長時間労働をなくすために

「異常な長時間労働」「メンタルヘルス」「ハラスメント」で多くの自治体職員が健康が損なわれています。大阪自治労連の各組合役員がオンラインで集まり、「健康で働き続けられる職場づくり交流会」として、職場の状況や労働組合の活動を交流し、すべての職場で改善に向けた取り組みを進めることを目的に開催しています。



大阪自治労連

健康で働き続けられる 職場づくりへ 交流会

「メンタルヘルス不全」は個人の責任では解決しない
10月4日、第2回目の交流会として「メンタルヘルス対策」をテーマに取り上げました。

大阪自治労連より、①人員の削減が進むほどメンタルヘルスによる休職者が増加しており、人員削減と長時間労働に問題の大きな根本原因がある。②仕事の内容が働きがいを持っていないものになり、住民の間でもストレスやトラブルを抱えるようになっていく。③メンタルヘルス不全は個人や職場だけの責任では解決できない。職員のいのちと安全、権利を守るたかいかいと位置づけ、自治体当局の使用責任を追及していくことが必要だと問題提起しました。

婦人部は、「メンタルヘルス不全になる人は、女性が男性よりも多いとするデータも示し、職場でジェンダー平等を実現することが健康な職場をつくるために必要である」ことを指摘しました。

いい仕事ができる職場をつくることにつながる意見交換では「メンタル不全の

背景にあるハラスメントへの対策と一体になって取り組むべき」「国が使用者に策定する努力義務を課している」「心の健康づくり計画」をすべての自治体で策定させ、内容を実効あるものにさせていくことが必要」「メンタル不全

は一度発症すると繰り返す。事後的な対応だけでなく、予防に力を入れなければならない」「安全衛生委員会を活用するとともに、当局の責任で解決させることが必要」「住民のために、いい仕事ができる職場をつくること、メン

タルヘルスの予防にもつながる」などの意見が出されました。

次の交流会は10月17日に第3回「ハラスメント対策」、31日には第4回「長期休業者の正規代替」をテーマに開催します。

住民と自分のために 魅力ある職場を仲間の力で



衛都連第87回定期大会を開催 大阪自治労連衛都連第34回定期総会

衛都連は第87回定期大会を9月29日に大阪市内で開催し、「住民と自分のために魅力ある職場を、仲間の力で」をスローガンに、分散会討論で代議員全員が思いを語り、2025年度の運動方針を決定して新役員を選出しました。

運動方針案は「この一年間、賃金闘争では物価高騰を上回る賃上げ要求して

たかい、会計年度任用職員では賃上げの4月週及実施を府内の大勢とするなど全国的にも先進的な到達を築いた。当事者が声をあげて行動し、衛都連統一闘争で要求を実現させる力になったことが教訓だ」としました。秋季年末闘争では、①誰も



分散会討論で代議員全員が発言

賃金を実現させる。②非正規公務員・公共労働者の身分保障と格差是正をめざす。③健康で働き続けられる職場づくりをすすめることを提起。再開2年目の「衛都連職場・職種別交流集会」を成功させ、労働組合活動の担い手を増やし、組織の強化・拡大を呼びかけました。

分散会の討論では代議員全員が発言し、「統一闘争をわかりやすい旗印で明確にすべき」「各市の状況の情報提供を」などの意見とともに、「単組をこえた交流と励ましあい運動の力になる。これが衛都連らしさだ」「職場改善や組合員の拡大など、小さなことでも共有していきたい」との思いも語られました。

討論のまとめでは「単組間の交流が衛都連のエネルギーになっていく。単組のたたかいと統一闘争を結びつけ、賃金闘争と職場活動、組織拡大・強化へ前進をめぐらそう」と結びました。

大会で
選出された役員
(4役)

▶執行委員長 坂田俊之(吹田市職労・再) ▶副執行委員長 尾崎一美(貝塚市職労・再) / 丹野 優(堺市職労・再) / 赤澤 勝(和泉市職労・新) / 中洲俊昭(東大阪市職労・再) / 市本逸也(枚方市職労・再) / 田中恒男(茨木市職労・再) / 寺内克憲(富田林市職労・再) ▶書記長 久保貴裕(衛都連本部・再) ▶書記次長 藤木 壮(衛都連本部・再)

9月29日

単組をこえた交流と
励ましあい運動の力に

大阪自治労連第33回軟式野球大会—寝屋川市職労が優勝

近畿大会に
大阪代表で出場決定

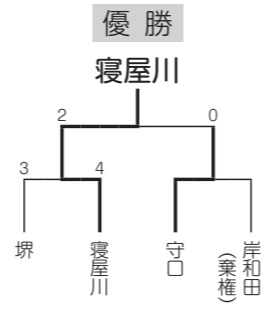


優勝した寝屋川市職労チーム

大阪自治労連第33回軟式野球大会(兼近畿ブロック大会大阪予選)が、9月21日に富田林市金剛東グラウンドで行われました。大会では堺市職労・守口市職労・寝屋川市職労の3チームで熱戦を繰り広げました。

試合はトーナメント方式で行われ、決勝戦は昨年と同じ対戦になりました。緊迫した試合展開から「ここぞ!」という時に集中打と堅い守備力を発揮した寝屋川チームが優勝。寝屋川チームは10月25日に尼崎ベイコム野球場で行われる第35回自治労連近畿ブロックスポーツ大会(軟式野球大会)に、大阪自治労連代表として出場します。

試合結果



今月のキーワード

安全衛生委員会

労働安全衛生法に基づき、労働災害等の防止のために対策を講じたり、重要事項について調査や審議を実施する機関です。自治体にも設けられていますが、形骸化して月1回の委員会さえ開催されていないところもあります。メンタルヘルス対策を進めるためにも、労働組合の役割を發揮して安全衛生委員会の機能強化が必要です。

今月のキーワード

心の健康づくり計画

厚生労働省が定める「労働者の心の健康の保持増進のための指針」において、自治体を含むすべての使用者に策定する努力義務が課せられています。法的な罰則はありませんが、メンタルヘルス対策を計画的に進めるためには不可欠です。府内すべての自治体で実効ある計画を策定させることが必要です。